平成25年2月12日

各 位

上場会社名　日本電計株式会社
代表者　代表取締役社長 武蔵　信義
(コード番号　9908)
問合せ先責任者　代表取締役専務 佐藤　信介
(TEL　03-3251-5731)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	70,000	1,500	1,400	1,000
今回修正予想(B)	70,000	1,800	1,900	1,300
増減額(B-A)	0	300	500	300
増減率(%)	0.0	20.0	35.7	30.0
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	67,973	1,688	1,684	1,393

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	67,000	1,200	800
今回修正予想(B)	65,500	1,350	900
増減額(B-A)	△1,500	150	100
増減率(%)	△2.2	12.5	12.5
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	65,025	1,411	1,141

修正の理由

個別では、第3四半期までは主要ユーザーの設備投資に慎重な姿勢が見られる中で、自動車関連業界の海外生産シフトに伴い生産設備向けの試験機等の売上が好調に推移したことや、新エネルギー関連業界の開発も積極的に行なわれていることから、計画を上回る売上高を確保できました。また、粗利益率が0.2%程度改善しました。
12月半ばの総選挙を境目として、政権交代による期待感から為替が大幅に円安となり、評価差損益を含めた為替差損益は、一転、1億5千万円程度の差益に転じたこともあり、経常利益が当初予想を大幅に上回る結果となりました。

連結では、中国で欧州の経済危機の影響で欧州向け輸出が減少し、尖閣問題を契機とした対日輸出入も減少するなど景気に鈍化傾向が見られるものの、アジアの新興国の中心としての地位を維持していることもあり、子会社である電計貿易（上海）有限公司の業績が好調に推移いたしました。また、ベトナム、タイの現地法人の業績も良好であります。第4四半期については、日本国内では、円安・株高の進行により景気回復ムードは高まっておりますが、実態経済への波及までには至っておらず、第4四半期の国内業績見通しは、見込み以上に厳しく予断を許さない状況にあります。しかしながら、個別の第3四半期までの業績と海外の連結子会社の業績を総合的に勘案し、連結営業利益・連結経常利益・連結当期純利益ともに、前回発表予想を上回る見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年11月14日発表)	―	12.00	―	20.00	32.00
今回修正予想	―	―	―	23.00	35.00
当期実績	―	12.00	―		
前期実績 (平成24年3月期)	―	7.00	―	20.00	27.00

修正の理由

配当金につきましては、業績、財務状況等を総合的に勘案し、継続かつ安定的な配当を行なうことを基本方針としております。

前述のとおり、第4四半期の業績がなお予断を許さない状況にあるものの、計画どおりに推移すれば、通期の連結業績が前回の発表を上回る見通しとなりましたことから、期末配当は1株当たり3円増配し、23円とさせていただきます。
従いまして、当期の年間配当は中間配当12円、期末配当23円の年間35円になる見込みであります。

引き続き、計画した当期純利益の確保に向けて、グループの総力を結集してまいる所存であります。

以 上